

薬事委員会決定事項

薬事委員会 書記
薬剤部 小泉 祐一

平成 29 年 6 月 16 日の薬事委員会で以下の薬剤について決定いたしました。他の事柄についてもあわせてご報告いたします。

① 新規採用医薬品

カピステン筋注 50mg (整形外科) 【手術限定】

薬効： 注射用鎮痛・解熱・抗炎症剤

申請理由： TKA、THA の手術中に鎮痛目的として、カクテル麻酔注射を施行するために使用予定。

採用中止薬剤： なし

ネオビタカイン注シリンジ 5mL (整形外科)

薬効： 疼痛治療剤 (局所注射用)

申請理由： 0.1%ジブカイン塩酸塩に 0.3%サリチル酸ナトリウムと 0.2%臭化カルシウムを配合した薬剤。鎮痛効果と作用時間の延長を得ることを目的に配合された。多剤混注作業が不要となる。

採用中止薬剤： サルソニン注

ロゼックスゲル 0.75% (外科)

薬効： がん性皮膚潰瘍臭改善薬

申請理由： がん性皮膚潰瘍臭に適応する国内唯一の薬剤。がん性皮膚潰瘍による臭気は本人・周囲に影響し QOL を低下させるため、本剤が必要。

採用中止薬剤： ロンサーフ → 【院外限定】

ベネシッド錠 250mg (総合内科)

薬効： 痛風治療剤

申請理由： 抗菌薬であるペニシリンの排泄を抑制するために開発された薬剤。ペニシリンは血液中から尿細管の中へと排泄される。このペニシリンが排泄される過程を阻害する。

採用中止薬剤： ドグマチール細粒

リクシアナ錠 30mg (循環器内科)

薬効： 経口 FXa 阻害剤

申請理由： 非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制のため使用する患者は高齢者が多く、体重換算としてリクシアナ錠 30mg の投与なるため。

採用中止薬剤： ミルリーラ注

アイクルシグ錠 15mg (血液内科)

- 薬効： 抗悪性腫瘍剤／チロシンキナーゼインヒビター
申請理由： 前治療薬に抵抗性又は不耐容の慢性骨髄性白血病または再発又は難治性のフィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病に使用
採用中止薬剤： スタラシド →【患者限定】

ニンラーロカプセル 2.3mg／3mg／4mg (血液内科)

- 薬効： 抗悪性腫瘍剤 (プロテアソーム阻害剤)
申請理由： 前治療歴のある多発性骨髄腫に対するレナリドミドおよびデキサメタゾンとの併用の適応を有する初めてかつ唯一の経口プロテアソーム阻害薬。
採用中止薬剤： ペラゾリン →【患者限定】

② 使用成績調査

<リフキシマ>

1. 調査区分：使用成績調査
2. 医薬品名：リフキシマ錠 200mg
3. 調査目的：リフキシマ錠 200mg (以下、本剤) の使用実態下における安全性及び有効性を検討すると共に、リファマイシン系製剤の使用経験がある症例における本剤の有効性を確認する。併せて安全性及び有効性に影響を与える背景等の要因について検討する。
4. 調査予定期間：契約締結日から 2019 年 11 月 30 日まで
登録期間：2016 年 11 月 29 日から全例調査の承認条件解除時まで
観察期間：本剤投与開始から 3 ヶ月 (12 週間)
5. 予定症例数：本剤が投与された全症例
6. 調査責任医師：土細工 利夫
調査分担医師：廣岡 知臣、高柳 成徳、武田 修身、半野 元、上田 栄寿、益岡 優、
間島 行則、久松 美友紀、池添 達朗、依岡 伸幸

<眼内レンズ『レストア』>

1. 調査区分：使用成績調査
2. 製品名：アクリソフ I Q レストアシングルピース、アクリソフ I Q レストアトーリックシングルピース
3. 調査目的：アクリソフ I Q レストアシングルピース、アクリソフ I Q レストアトーリックシングルピース挿入後の術後炎症発生頻度を調査する。
4. 調査予定期間：契約期間開始時から全国で 3 0 0 0 眼が登録終了後 3 ヶ月
登録期間：契約開始時から 3 0 0 0 眼が登録されるまで
観察期間：標準的な観察期間は本製品を挿入後 3 ヶ月間
5. 予定症例数：3 0 0 0 眼 (全国で)
6. 調査責任医師：三島壮一郎
調査分担医師：三島壮一郎